

「水災害意識社会再構築ビジョン」に基づく
木津川上流部の取組方針

令和2年度の取組状況

目次

木津川上流河川事務所	3	(市町村)	43
紀伊山系砂防事務所	16	津市	44
淀川ダム統合管理事務所	18	名張市	46
水資源機構	20	伊賀市	49
津地方気象台	23	笠置町	51
奈良地方気象台	26	南山城村	53
(府県)	28	宇陀市	55
三重県	29	山添村	57
奈良県	35	曾爾村	59

令和2年度取組状況
(木津川上流河川事務所)

○木津川、服部川(三重県 伊賀市)の河道掘削を実施

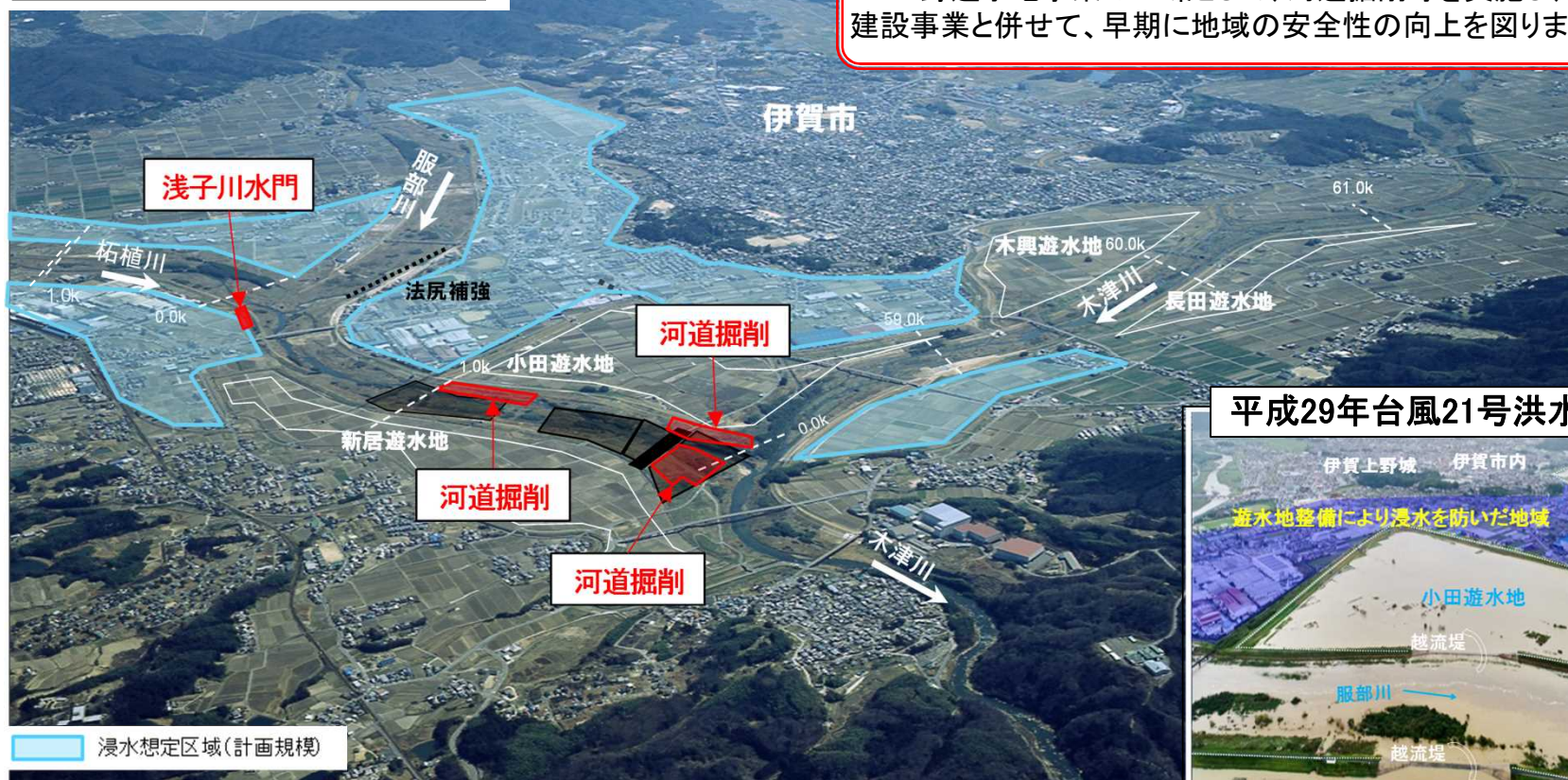
課題対応 **S**

【平成28年度～:近畿地整】

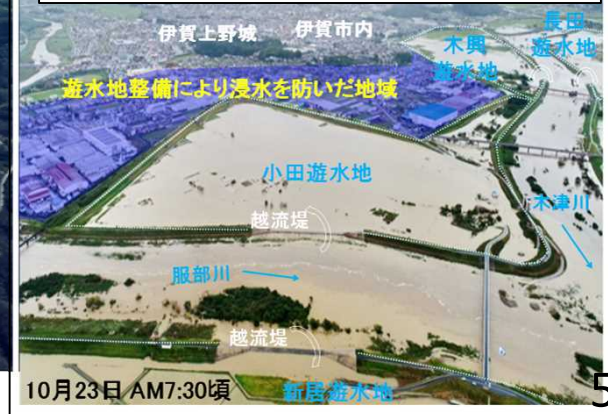
「水防災意識社会再構築ビジョン」の取組として、服部川(伊賀市)の河道掘削を実施。流下能力不足を解消していくとともに、上野遊水地及び今後整備される川上ダム治水効果を最大限発揮できるようにしていく。

■木津川上流 上野遊水地

上野遊水地事業の一環として、河道掘削等を実施し、川上ダム建設事業と併せて、早期に地域の安全性の向上を図ります。



平成29年台風21号洪水時の様子



洪水を安全に流すためのハード対策を実施

○ 服部川(三重県 伊賀市)の引堤を実施

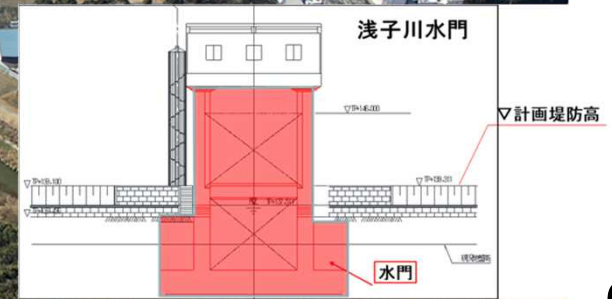
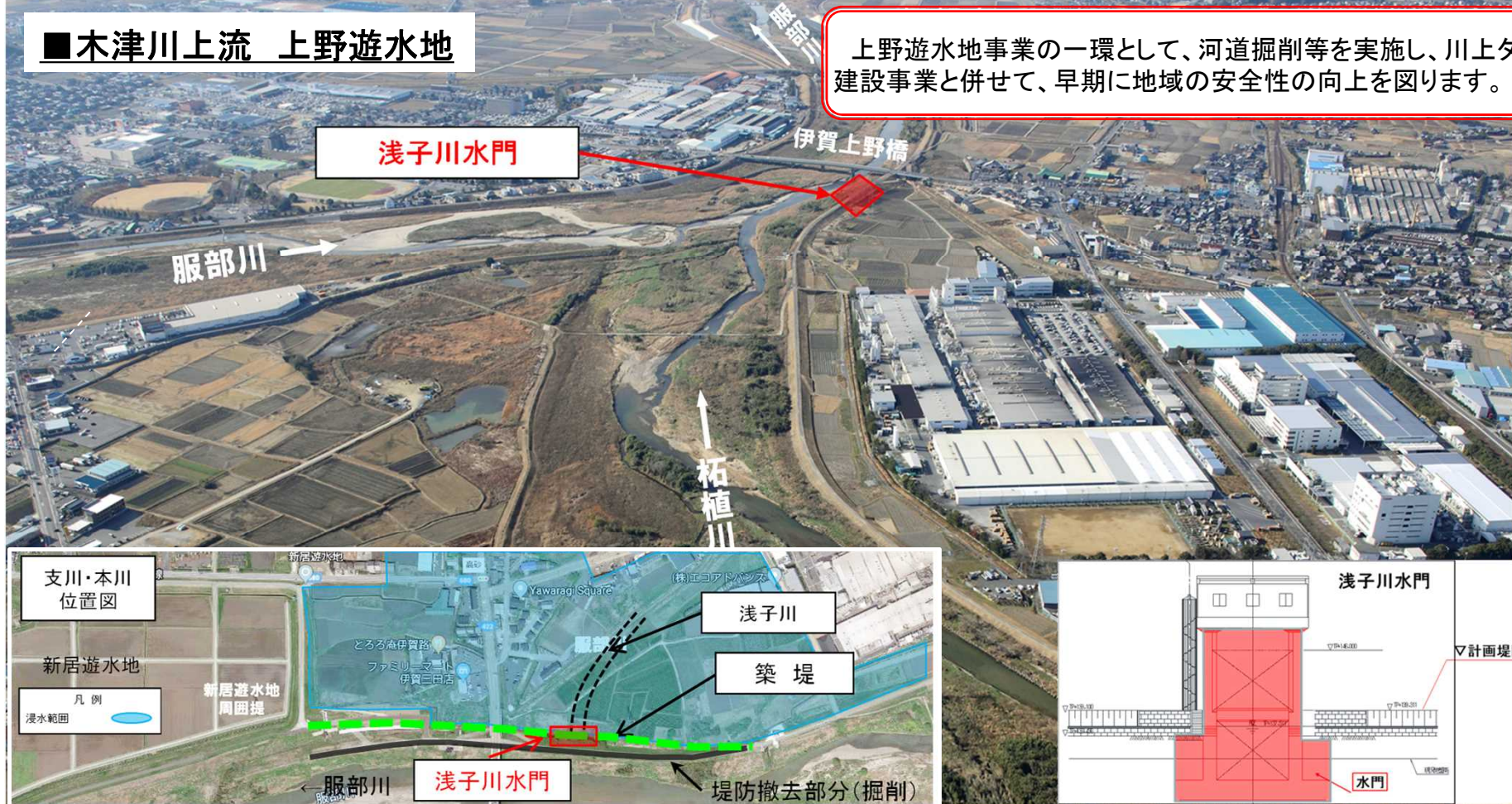
課題対応 **S**

【平成28年度～:近畿地整】

「水防災意識社会再構築ビジョン」の取組として、服部川（伊賀市）の引堤を実施。流下能力不足を解消し、早期に地域の安全性の向上を図る。

■木津川上流 上野遊水地

上野遊水地事業の一環として、河道掘削等を実施し、川上ダム建設事業と併せて、早期に地域の安全性の向上を図ります。



○柘植川(三重県 伊賀市)の浸透対策工事を実施

課題対応 **S**

【令和2年度～:近畿地整】

「水防災意識社会再構築ビジョン」の取組として、浸透対策を実施し、早期に地域の安全性の向上を図る。

■柘植川 浸透対策工事

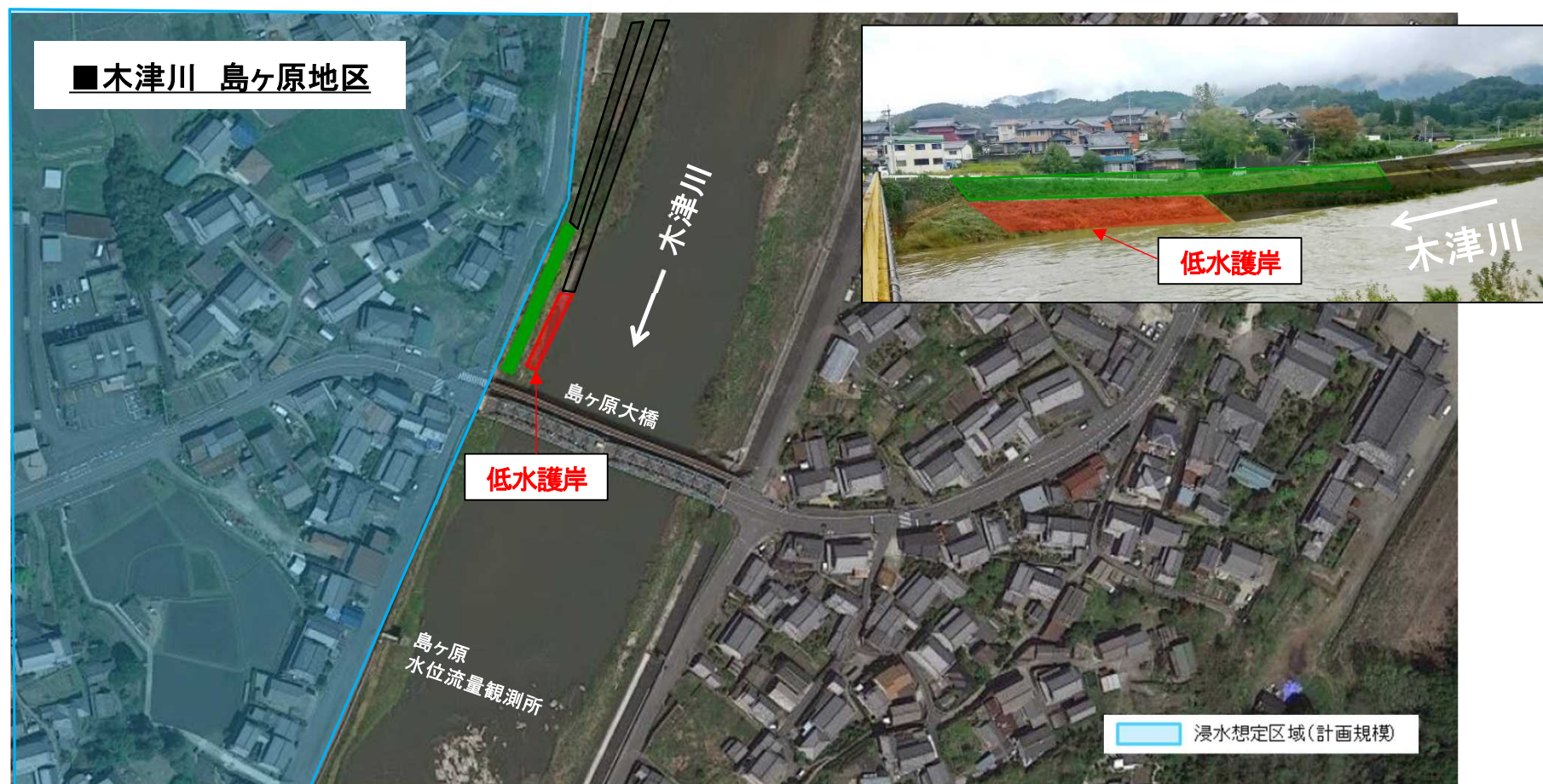


○木津川(三重県 伊賀市)の築堤護岸整備を実施

課題対応 **S**

【令和2年度～:近畿地整】

洪水時の危険性に関する対策として、県道整備と連携して築堤護岸整備を実施し、早期に地域の安全性の向上を図る。



洪水を安全に流すためのハード対策を実施

○宇陀川(奈良県 宇陀市)の河道掘削を実施

課題対応 **S**

【令和2年度～:近畿地整】

洪水時の危険性に関する緊急対策として、ダム下流における河道掘削を実施し、早期に地域の安全性の向上を図る。



○水防活動の強化に関する事項

課題対応: K

【令和2年度:近畿地整】

- ・名張市内の黒田地区で引堤事業のハード整備を進めている一方、避難等のソフト対策も重要であり、水害や土砂災害に備えて、いつ・どのように避難するかを話し合う場として12月13日(日)に、名張地区の住民の皆さまを対象に「みんなで逃げよう(MiNi)ワークショップ」を開催した。
- ・第1回は地域の災害リスクを知ること、個人の避難行動を考えることをテーマに参加者の皆さまにマイ防災マップとマイ・タイムラインを作成していただいた。

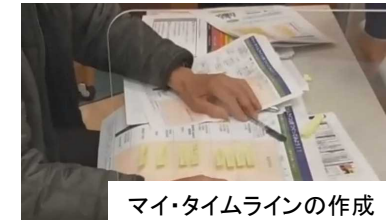


実施概要

- 【日時】: 12月13日(日)
13時30分~15時30分
- 【場所】: 名張産業振興センターASPIA1階
アスピアI・II
- 【実施内容】: 名張市 みんなで逃げよう
(MiNi) ワークショップ
- 【参加者】: 36名(名張地区住民)



会場の様子は、カメラ映像を東京、大阪と共有しながら実施
新型コロナウイルス対策として、ワークショップをリモート形式で開催



マイ・タイムラインの作成

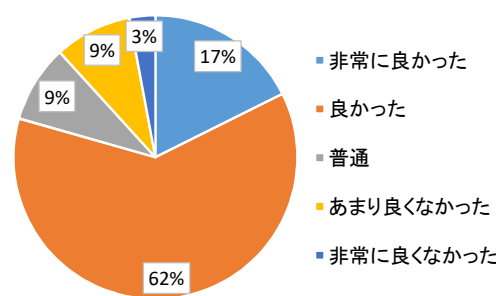
【マイ・タイムライン作成結果】
・「台風情報確認」、「食材の買い出し」、「防風対策」、「家族にライン」、「避難可能な服装への着替え」、「ガス、電気、戸締りの確認」、「地域の人を避難所に連れて行く」、「近くの集合住宅の4階に避難」等の防災行動が抽出されました。

【参加者の意見】
・南町、朝日町で第二期の河川改修を行うことも踏まえて、危機意識を持ちながらこのような勉強会を開いていただきありがとうございました。

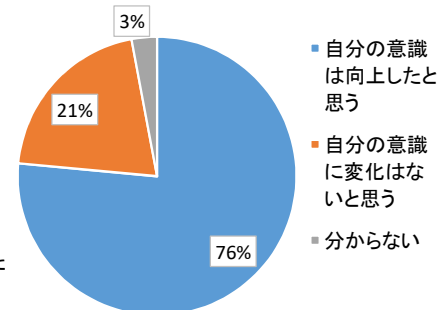
【アンケート結果】

- ・今回の資料を町内の方に配布ができれば意識を高めることができ、自助に繋がるのではないかと思います。
- ・改めて自分が住んでいる場所を再確認できた。
- ・マイタイムラインを想定することが良かった。
- ・防災意識がより高まった。
- ・情報の入手方法が解った。

ワークショップ内容について



防災への意識の変化について



○平時からの住民への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応： J

【令和2年度：近畿地整】

- ・名張小学校の避難訓練にあわせて、名張小学校児童を対象に、ZOOMでの配信を用いて「川の防災について」の勉強会を開催した。
- ・「雨が降ったときにはどのような行動を取るのか」、「国土交通省はどんな仕事をしているのか」など、国の役割や防災情報の入手方法など基本的な知識を小学生に学んでいただいた。
- ・配信は、名張小学校校長室から全クラスに生配信し、約380名の児童に情報を届けた。

実施概要

- 【日 時】：11月21日（土）
10時35分～10時55分
- 【場 所】：名張市立名張小学校
- 【実施内容】：Web配信を活用した防災学習
雨が降ったときの危険について
ハザードマップについて
「川の水位情報」について 他
- 【参加者】：約380名

【担当された先生の声】

本校は、土砂災害危険箇所を有していることもあり、川の防災や雨天時の危険について学び行動する力をつけていくことを目的として防災学習・避難訓練を実施しました。木津川上流河川事務所の方からの講義をいただくことで、子どもたちは実際に発生した災害の様子を知ることや、すばやい避難の必要性について学ぶことができました。また、校区内に自分たちの生活を守る仕事をされている人たちがいることにも気づくことのできる機会となりました。

実施状況



校長室から易しく配信

教室の様子 みんなモニターを注視

上野遊水地の役割について勉強会を開催

○洪水予測や水位情報の提供の強化に関する事項

課題対応：H

【令和2年度：近畿地整】

- ・伊賀上野ケーブルテレビから要請を受けて、9月15日（火）に、メディア連携の一環として、上野遊水地の勉強会を開催した。
- ・勉強会では近年洪水の話題と上野遊水地の役割、洪水時の情報発信等について説明した。
- ・参加者からは、「なるほどそうだったのか上野遊水地の役割が分かった」「防災情報を取り扱う立場として大変勉強になった。今後も勉強会を続けて欲しい」などの意見をもらった。

実施概要

- 【開催日時】：9月15日（火）
13時30分～14時30分
- 【参加機関】：伊賀上野ケーブルテレビ
- 【実施内容】：上野遊水地についての勉強会
- 【参加者】：13名

【意見交換内容】

- ・遊水地に洪水が入る情報は、一般に配信されているのか。
- ・遊水地に水が入った様子を撮影したい。
- ・簡易型カメラ設置の要望があれば、新たに設置してもらえるか。
- ・浸水ハザードマップはどのように作られているのか教えて欲しい。
- ・氾濫注意情報が配信される条件と、配信先を教えてください。

実施状況



勉強会の様子



マイタイムラインの説明

【参加者の声】

- ・なるほどそうだったのか上野遊水地の役割が分かった。
- ・HPで公開している河川監視用カメラの映像をケーブルテレビで配信したい。
- ・防災報道を取り扱う立場として大変勉強になった。
- ・今後もこのような勉強会を続けて欲しい。

簡易型河川監視カメラの設置

○洪水予測や水位情報の提供の強化に関する事項

課題対応： f

【令和2年度：近畿地整】

- ・平成30年7月豪雨災害を受けて、住民の情報把握において住民に近隣河川の増水状況をリアルタイムに提供することで適切な避難判断を促すことを目的に国及び地方自治体により「簡易型河川監視カメラ」の設置を進めている。
- ・簡易型河川監視カメラは危機管理型水位計とともに、「川の防災情報」ホームページにおいて一般に公開されており、地域の方々がいち早く把握する手段として情報提供をいいる。
- ・令和2年3月末日において木津川上流河川事務所管内には32カ所の河川監視カメラを設置いる。

実施概要

【目的】

氾濫の危険性が高く、人家や重要施設のある箇所に「簡易型河川監視カメラ」を設置し、河川状況を確認することで、従来の水位情報に加え、リアリティーのある洪水状況を画像として住民と共有し、適切な避難判断を促す。

【特徴】

- ・無線式の場合は電源、通信ケーブルの確保は不要とし屋外に容易に設置。
- ・ズームや首振り機能を削除することによりコストを低減。

令和2年度 設置箇所<例>



木津川51.8k右岸



名張川25.8k右岸

簡易型河川監視カメラの整備状況(市町村別)

- 電源・通信ケーブルの確保不要で設置が容易なカメラ。月明かり程度の明るさでも静止画の撮影が可能。
- ズームや首振り機能を限定することでコストを縮減。
- 専用ウェブサイトの「川の水位情報」で、一般向けに提供。
- リアリティのある河川の状況を画像で伝えることで、住民の適切な避難判断を促す。

河川名	距離標位置	河川名	距離標位置	河川名	距離標位置	河川名	距離標位置	河川名	距離標位置	河川名	距離標位置
木津川	37.4R	小田遊水池	小田陸間	名張川	16.9R	名張川	30.4L	宇陀川	3.8R	宇陀川	11.0L
木津川	39.6R	服部川	1.6R	名張川	24.2L	名張川	31.4L	宇陀川	4.1L	宇陀川	11.4L
木津川	43.3R	服部川	2.2R	名張川	25.8R	宇陀川	0.6R	宇陀川	4.9L	—	—
木津川	51.8R	柘植川	0.0R	名張川	28.8R	宇陀川	1.0R	宇陀川	6.0L	—	—
木津川	56.0R	柘植川	0.6L	名張川	29.0R	宇陀川	1.6R	宇陀川	7.0L	—	—
木津川	56.7R	柘植川	1.35R	名張川	29.9R	宇陀川	3.5R(2基)	宇陀川	8.0L	—	—

【配信イメージ】

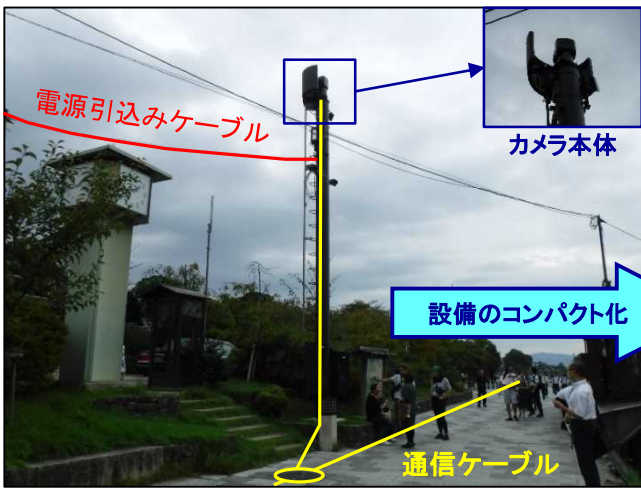


「川の水位情報」
<https://k.river.go.jp>

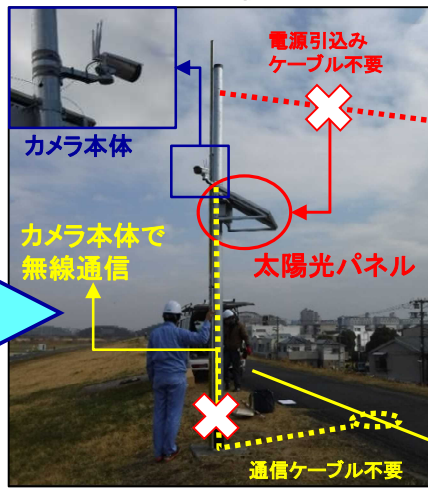
川の防災情報では、従来方式10分毎、簡易カメラ5分毎の静止画を配信しています。

【トピック】令和元年度 25台運用開始
令和2年度 6台設置
令和3年6月 1台設置予定
計 32台運用開始予定

(従来方式の河川監視カメラ)



(簡易型河川監視カメラ)



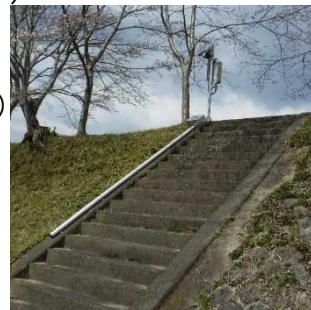
危機管理型水位計の運営状況

課題対応 H、K

○「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画に基づく
危機管理型水位計運営状況(川の水位情報による一般公開)【令和2年度:近畿地整】

【特徴】

- 長期間メンテナンスフリー（無給電で5年以上稼働）
- 省スペース(小型化)（橋梁等へ容易に設置が可能）
- 初期コストの低減
（洪水時のみの水位観測により、機器の小型化や電池及び通信機器等の技術開発によるコスト低減）
（水位計本体費用は、100万円/台以下）
- 維持管理コストの低減
（洪水時のみに特化した水位観測によりデータ量を低減し、IoT技術とあわせ通信コストを縮減）



設置例

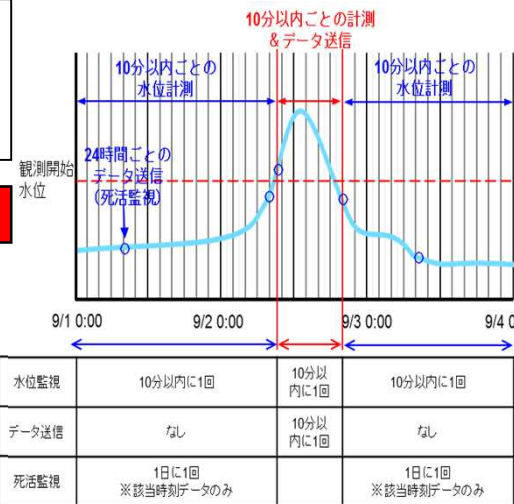
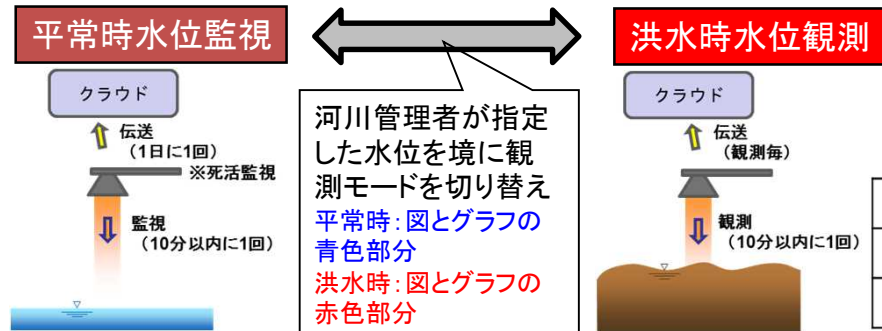
危機管理型水位計設置箇所数
(令和2年8月31日現在) 平成30年より整備

設置場所	箇所数	設置場所	箇所数
京都府笠置町笠置	1	三重県名張市薦生	1
京都府笠置町有市	1	三重県名張市蔵持町里	1
京都府南山村北大河原	1	三重県名張市朝日町	1
三重県伊賀市島ヶ原	1	三重県名張市本町	1
三重県伊賀市西高倉	1	三重県名張市箕曲中村	2
三重県伊賀市三田	3	三重県名張市安部田	3
三重県伊賀市山神	1	奈良県宇陀市室生三本松	3
奈良県山添村広瀬	1	奈良県宇陀市室生大野	1
合 計		23	

【トピック】令和元年度 23台運用開始

【水位観測方法】

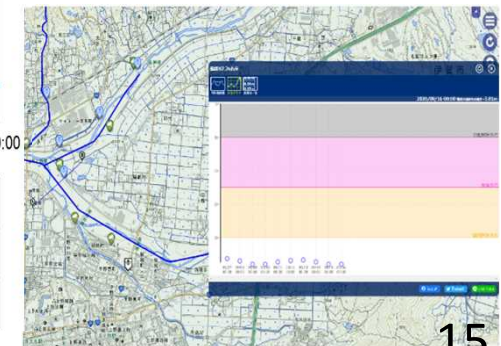
一定の水位を超過した時に観測モードを切り替え、10分以内毎に水位データを送信。水位データはクラウドで閲覧可能。



【配信イメージ】

「川の水位情報」

<https://k.river.go.jp>



令和2年度取組状況
(紀伊山系砂防事務所)

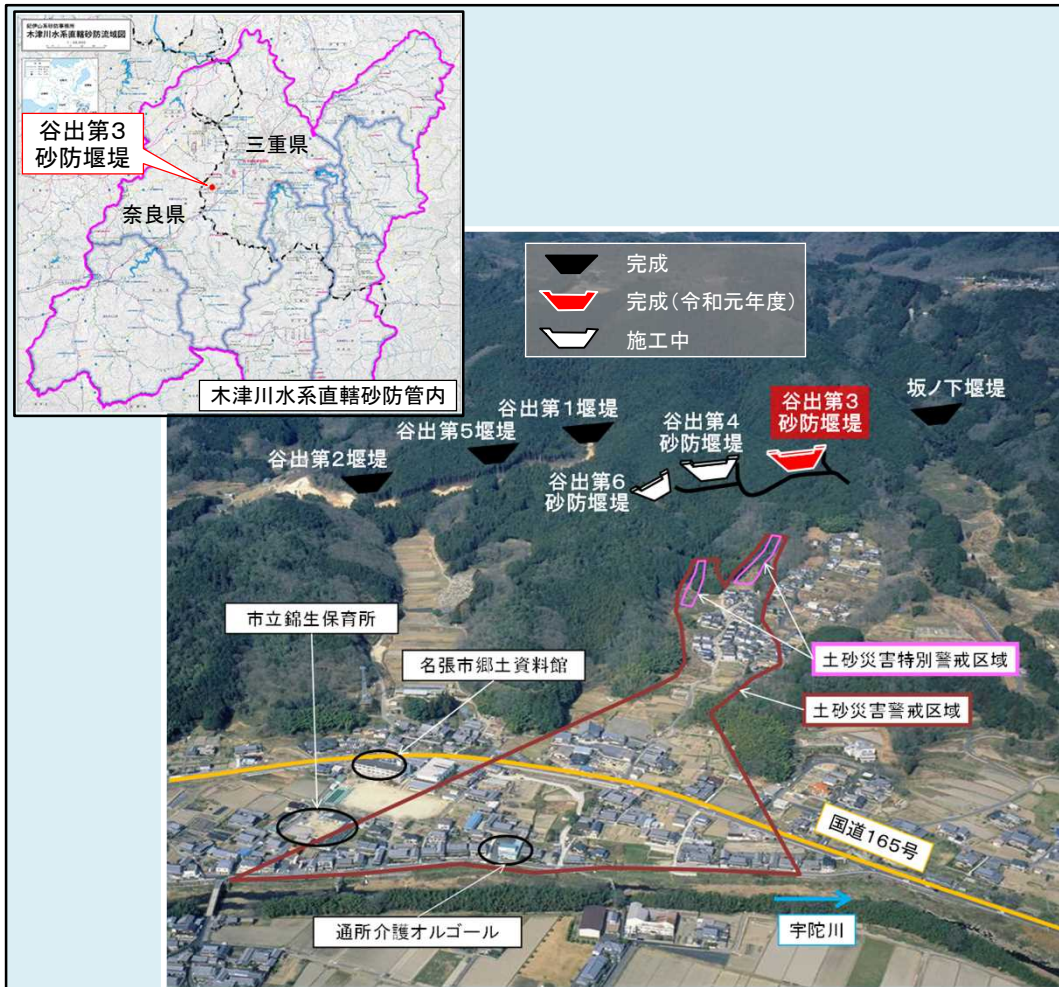
ハード対策 木津川水系直轄砂防管内における砂防対策(直轄砂防事業)

砂防堰堤の補修及び砂防堰堤の設置

課題対応 —

【令和元年度:紀伊山系砂防事務所】

名張市安部田の谷出地区において、谷出第3砂防堰堤（本堤・副堤）が完成。下流域の安全度が向上。また、谷出第4および第6砂防堰堤を現在施工中。



令和2年度取組状況
(淀川ダム統合管理事務所)

○事務所ホームページの改修

課題対応 緊2

【令和2年度：淀川ダム統合管理事務所】

- ・洪水予報について図を取り入れ分かりやすい説明に改修した。
- ・淀川水系ダム群の統合管理について図を取り入れ分かりやすく改修した。

実施状況

淀川ダム群のダム諸量閲覧

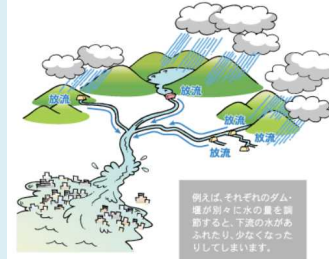


淀川水系ダム群の統合管理について

淀川水系のダム群を統合的に管理することにより、効率的な水の管理が可能となります。

淀川ダム統合管理事務所では、淀川水系のダム群を連携させて、水系全体の管理を行っています。複数のダムや堰を一括で管理することにより、各ダムが単独で運用するよりも効率的、効果的に流れを調節することができます。

【各ダム・堰を単独で運用すると…】



【統合的な管理により、効率的・効果的に流れを調節】



淀川水系洪水予報指定区間図



洪水予報のレベルについて



令和2年度取組状況 (水資源機構)

ダム等の洪水調節機能の向上・確保

課題対応 緊8

【令和2年度:水資源機構 木津川ダム総合管理所】

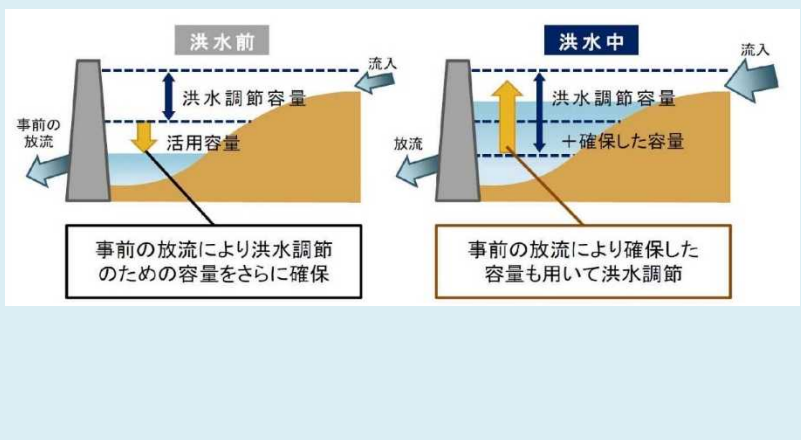
令和2年10月の台風14号において、高山ダム、青蓮寺ダム、布目ダム、比奈知ダムで事前放流を実施。事前放流等により、洪水調節容量を一時的に約6%増量した。



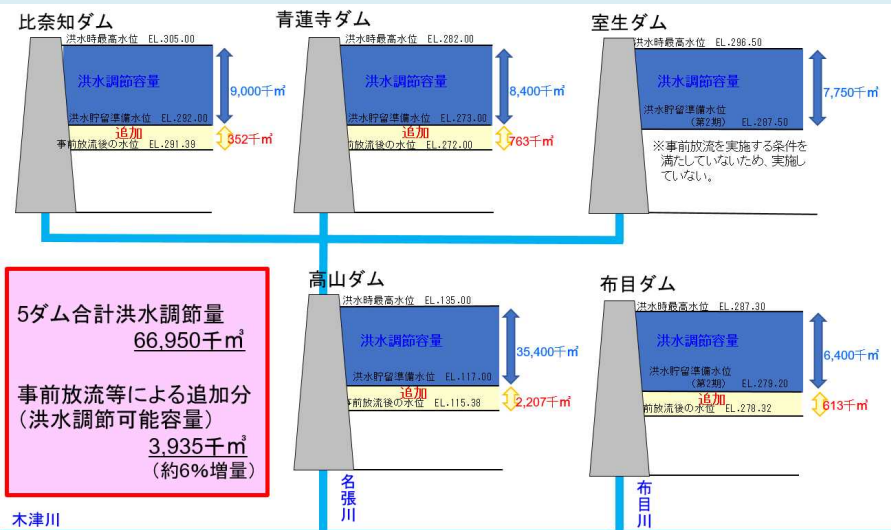
【事前放流の実施状況】

- 木津川ダム群(5ダム)は、関係者と合意した事前放流ルールに基づく運用を令和2年洪水期から開始。
- 令和2年10月の台風14号接近による出水で、4ダムで事前放流を実施。一時的に洪水調節容量を増量した(約6%増)。
- 事前放流をより効果的に行うため、予測技術向上に向けた技術開発(アンサンブル予測技術)及び施設改良の検討を実施中。

事前放流の概要



事前放流の実施(令和2年10月 台風14号)



ダムの防災操作や放流連絡体制の周知を行う。

課題対応 **J**

【令和2年度:水資源機構 木津川ダム総合管理所】

令和2年4月20日～21日に実施した洪水対応演習に関連し、①雨が降り始めてゲート放流を開始するとき、②大雨による緊急時（異常洪水時防災操作）が予測されるとききの警報内容を、地元広報誌へ掲載した。

実施概要

● 広報誌掲載日

- 1回目：令和2年4月11日（土）
- 2回目：令和2年4月18日（土）

● 掲載した広報誌

伊和ジャーナル
（配布地域は名張市と旧青山町）

● 実施概要

下記①②のときの警報局舎からの放送内容（音声メッセージ）の紹介。

- ①ダムからゲート放流を開始するとき
- ②緊急時（異常洪水時防災操作が予測されるとき）

また、QRコードから木津川ダム総合管理所HPへリンクし、警報局舎からの音声放送内容・サイレンの鳴り方の紹介。

実施状況

木津川ダム総合管理所 HPへリンク

令和2年度取組状況 (津地方気象台)

○わかりやすい洪水予報文の改良と運用

課題対応 E

【令和2度：三重河川国道事務所・津地方気象台】

・令和元年東日本台風における検証を踏まえ、令和2年度より大雨特別警報から大雨警報に切り替え後の注意喚起のため、河川氾濫に関する情報を発表することとした。

実施概要

- 令和2年出水期より実施
- 国土交通省、気象庁

実施状況

河川氾濫に関する情報(球磨川の例)


熊本県の大雨特別警報は大雨警報に切り替わりましたが、球磨川では今後も氾濫に警戒が必要です。

熊本県の大雨特別警報は大雨警報に切り替わりましたが、球磨川の洪水はこれからも警戒が必要です。天候が回復しても、氾濫が発生するおそれがあるため、洪水への一層の警戒が必要です。

■ 球磨川 には、 氾濫発生情報(警戒レベル5相当情報) を発表中です。

河川名	水位観測所	水位状況	今後の見込み
球磨川	萩原 (熊本県八代市)	氾濫発生中	水位上昇中。まもなく最高水位
球磨川	おおの 大野 (熊本県球磨郡球磨村)	氾濫発生中	水位は横ばい
球磨川	わたりくまもとけんまぐん 渡 (熊本県球磨郡球磨村)	氾濫発生中	水位は横ばい
球磨川	ひとよし 入吉 (熊本県入吉市)	氾濫発生中	水位は横ばい
球磨川	いちぶ 一武 (熊本県球磨郡隆郷町)	氾濫危険水位超過	水位は横ばい
球磨川	たらぎ 多良木 (球磨郡多良木町)	氾濫危険水位超過	水位は横ばい

○警報等における危険度の色分け表示(分かりやすい表示)

課題対応 

【令和2度:津地方気象台】

- 危険度分布において「本川の増水に起因する内水氾濫（湛水型の内水氾濫）の危険度」も確認できるよう、本川流路の周辺にハッチをかけて危険度を表示するように改善した。

実施概要

●令和2年5月28日

●津地方気象台

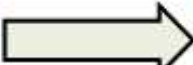
実施状況

たんすいがた
湛水型の内水氾濫の危険度の表示

改善前

①洪水予報河川（大河川）の外水氾濫の危険度（指定河川洪水予報）

②中小河川の洪水危険度
外水氾濫、本川の増水に起因する内水氾濫（湛水型の内水氾濫）それぞれの危険度のうち、高いほうの危険度を表示している。



改善後

③洪水予報河川の内水氾濫の危険度
洪水予報河川（大河川）の周辺の「赤（警戒）」は、洪水予報河川の外水氾濫でなく、周辺で発生する内水氾濫の危険度を表示している。

「湛水型内水氾濫の危険度」のボタンを押すと、内水氾濫の危険度が表示される



令和2年度取組状況 (奈良地方気象台)

○中学校における水災害教育を実施

課題対応 J

【令和2年度：奈良地方気象台】

奈良市内において、中学校に出向いて的確な気象情報を迅速に提供することによって、自然災害の軽減・国民生活の向上・交通安全の確保・産業の発展などが実現することができる防災教育を行い、天気解説についての実習を行った。

実施概要

- 日時 令和3年3月17日
9時30分～11時45分
- 参加機関 奈良市立富雄第三中学校
- 実施概要 中学校の2時限を使い、前半を講義、後半で天気解説の実習を行った。

感想等

実習では、初めて接する天気図で最初は苦労していたが、講師がヒントを与えたらコツをつかんだようである。また、予報官の仕事についていくつかの質問があり答えた。

後日「防災知識が身につけて良かった」との感想文をいただいた。

実施状況



令和2年度取組状況 (府県)

令和2年度取組状況 (三重県)

取組内容 河川整備計画に基づく河川改修の実施

課題対応 S (M)

【令和2年度:三重県】

具体的な取組内容

木津川の河川整備計画に基づき、横断構造物等により流下能力が不足している区間において、築堤・護岸改修を実施した。

位置図



完成



取組内容 河道内樹木の伐採や堆積土砂の実施

課題対応 S (M)

【令和2年度:三重県】

具体的な取組内容

河合川ほか20河川の土砂堆積により流下能力が不足している区間において、河川内に堆積した土砂を約5万m³撤去した。

位置図



— R2施工箇所



取組内容 堤防天端の保護 裏法尻の補強

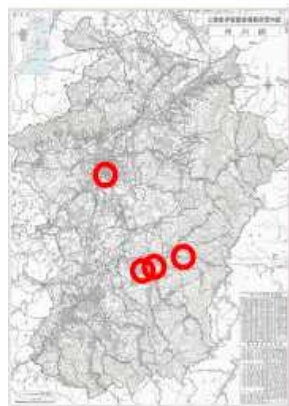
課題対応 T (M)

【令和2年度:三重県】

具体的な取組内容

久米川ほか3河川の堤防が決壊した場合に人命被害が生じる恐れがある区間において、危機管理型ハード対策を実施した。

位置図



○ R2施工箇所



取組内容 想定最大外力を対象とした洪水浸水想定区域図及び家屋倒壊等氾濫想定区域図の策定・公表を行う

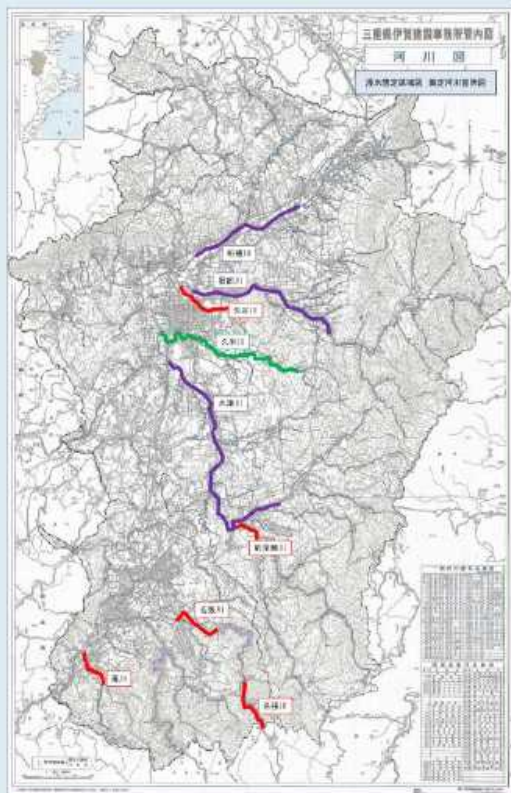
課題対応 A

【令和2年度：三重県】

具体的な取組内容

名張川ほか3河川において、想定最大外力を対象とした洪水浸水想定区域図及び家屋倒壊等氾濫想定区域図の策定・公表を行った。

位置図



名張川
洪水浸水想定区域図(想定最大)



【洪水浸水想定区域図の策定・公表状況】

- 水位周知河川
 - ・H30.3 木津川・服部川・柘植川
- 水位周知河川以外
 - ・R2.4 矢谷川・前深瀬(伊賀市)
 - ・R2.6 滝川・名張川(名張市)
 - ・R2.12 名張川(名張市)
 - ・R3.5(予定) 久米川(伊賀市)

名張川
家屋倒壊等氾濫想定区域図(氾濫流)



取組内容 河川監視用カメラの設置

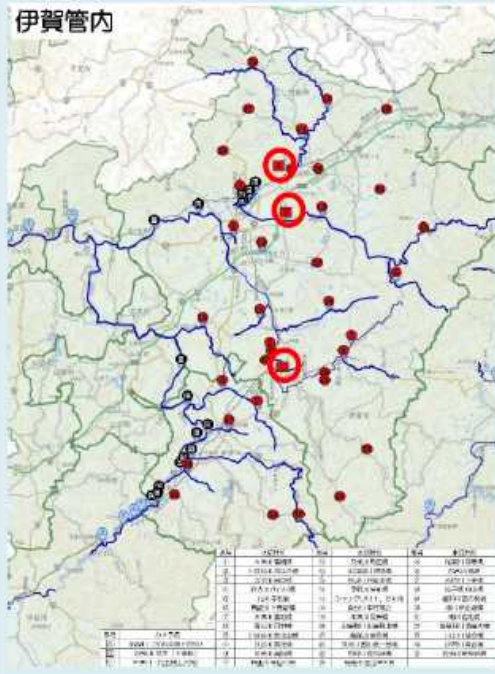
課題対応 **緊4**

【令和2年度：三重県】

具体的な取組内容

水位周知河川である木津川・柘植川・服部川において、危険個所を監視する簡易型河川監視カメラを整備した。

位置図



当該カメラ直近の指定水位観測所名：佐那具



当該カメラ直近の指定水位観測所名：比土



当該カメラ直近の指定水位観測所名：荒木

令和2年度取組状況 (奈良県)

○整備計画に基づく河川改修の実施

課題対応 M

【令和2年度：奈良県】

計画堤防断面に対して高さや幅が不足している区間では、洪水により氾濫する恐れがある。洪水を河川内で安全に流す対策として、学識経験者や地方公共団体の長や住民の方々等の意見を踏まえて策定した「淀川水系（奈良県域）河川整備計画」に基づいて改修工事を実施している。



実施状況

- 工事名：町並川 バイパス流入立坑工事
- 工期：R1.9.30～R4.1.31
- 工事延長：H=30m Φ=5.5m



- 工事名：町並川 バイパス推進工事
- 工期：R2.9.25～R3.11.30
- 工事延長：H=123m (Φ1,200中口径)



- 工事名：宇陀川 河床掘削・落差工工事
- 工期：R1.11.8～R2.5.29
- 工事延長：169m,170m (2箇所)



感想等

今後も河川整備計画に基づいた、河川改修を着実に実施し、淀川水系の治水安全度の向上に努めていく。

○県・市町村間のホットラインの構築、運用開始

課題対応 **b**

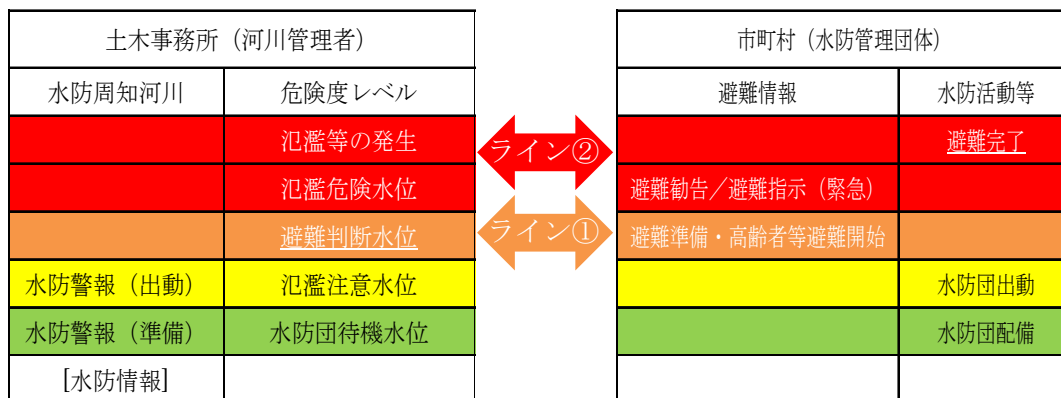
【令和2年度：奈良県】

県・市町村間の洪水対応ホットラインを構築し、平成30年6月16日から運用を開始しました。
今年度、木津川上流域におけるホットラインの実施はありませんでした。

ホットラインの概念

県管理河川は中小規模の河川が多く、急激な水位上昇も考えられることから、避難の判断につながる情報の遅れや漏れを防ぐため、**河川管理者**から、避難勧告等の**発令を判断する市町村長等へ直接電話により伝達**する仕組みです。

ホットライン概念図



実施記録表（例）

日時	連絡時刻	発信者	受信市町村	受信者	対象河川	伝達内容		
						水位観測所	観測時刻	ライン・危険水位
令和 年 月 日	時 分						時 分	
【連絡・確認事項】								
令和 年 月 日	時 分						時 分	
【連絡・確認事項】								
令和 年 月 日	時 分						時 分	
【連絡・確認事項】								
令和 年 月 日	時 分						時 分	
【連絡・確認事項】								

【〇〇土木事務所】

今年度、木津川上流域ではホットラインの実施はなかったが、他圏域の事例も参考に限られた時間の中で迅速かつ的確に情報伝達できるように、協議会の場を活用して情報の伝達方法等について確認することが必要である。

○奈良県河川情報システムの改修及び危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラの設置

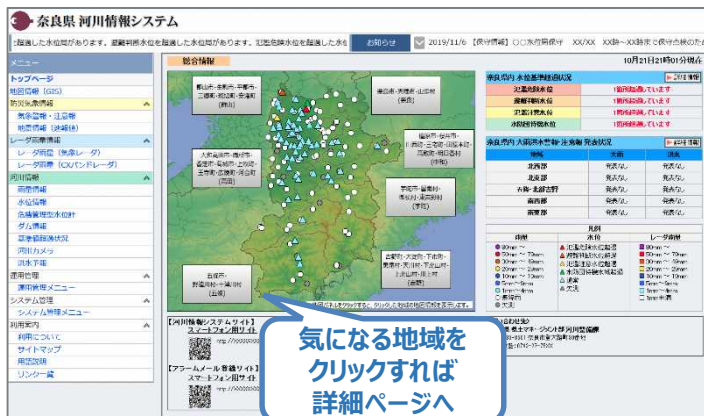
課題対応



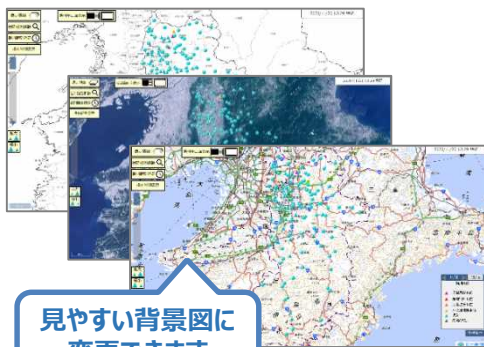
【令和2年度：奈良県】

奈良県河川情報システムの改修を行い、令和2年12月1日より新しいシステムに移行しました。新しいシステムでは、地図上から雨量や水位の基準値超過情報を直接確認できるとともに、サーバーの二重化により安定的に情報を提供できるようになりました。

観測した雨量や河川の水位、河川監視カメラの画像を、奈良県河川情報システム（ホームページ）で、リアルタイムに公開しています。新しい河川情報システムでは、雨量や水位等の情報、カメラ位置、洪水浸水想定区域図を重ねて表示することができます。



気になる地域をクリックすれば詳細ページへ



見やすい背景図に変更できます

きめ細かい水位情報やリアリティのある河川画像を提供し、**早めの避難行動に活用いただくため、「危機管理型水位計」や「簡易型河川監視カメラ」の設置を進めています。**奈良県河川情報システム（ホームページ）で新たに設置した**各20箇所**を閲覧できます。



停電時でも確認できるよう太陽電池を設置しています

堤防の高さまであと〇〇 [cm]を表示しています

【危機管理型水位計】



夜でも水位がわかります

拡大表示

画像クリック時

【簡易型河川監視カメラ】

○住民を対象とした水災害教育の実施

課題対応 **h**

【令和2年度：奈良県】

県政出前トークとして住民を対象とした水災害教育を実施した。

実施概要

- 日時：令和2年10月8日(木)
- 参加機関：奈良県県土マネジメント部河川整備課、砂防・災害対策課、一般参加者約10名
- 場所：奈良県産業会館 3F 研修室B
- 概要：県政出前トークの実施をしました。水害の状況や、水害リスクの確認として洪水浸水想定区域図、洪水ハザードマップの説明、出水時に避難判断の材料となる情報収集の方法として奈良県ホームページ等を紹介しました。土砂災害の種類、発生原因や、土砂災害警戒区域等の調べ方などについて映像を使用しながら紹介しました。

県民の防災意識の向上、関係機関の連携強化、防災技術の向上、地域防災力の向上が期待されます。

実施状況



県政出前トークの様子



県政出前トークの様子



県政出前トークの様子



県政出前トークの様子

○「土砂災害パネル展 ～土砂災害から身を守るために～」の実施

課題対応 AB

【令和2年度：奈良県】

「土砂災害パネル展 ～土砂災害から身を守るために～」を実施した。

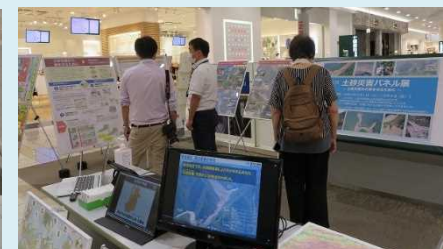
実施概要

- 日 時：令和2年9月1日(火)～4日(金)
- 場 所：イオンモール橿原店 2F
- 概 要：ショッピングモールの催事スペースにおいて、平成23年9月に発生した紀伊半島大水害で発生した土砂災害の記録、土砂災害から身を守るために意識していただきたいこと、県の取り組みなどについてパネル展示を行いました。また、紀伊山系砂防事務所とも連携し紀伊半島大水害後の対策状況に関する展示も行いました。9月1日(火)には、パネル展示に加え紀伊半島大水害の記録映像の上映や、県担当者によるパネル説明等を行いました。

学習の様子



パネル展の全景 (9/1)



パネル展示の様子



映像を用いた深層崩壊等の説明



パネル展の全景 (9/2-4)

感想等

- ・ 紀伊半島大水害の当時、道路が寸断されて大変だった事を思い出した。忘れない為に大切な取り組みだと思う。
- ・ 対策工事の現在の状況が知れて良かった。

○土砂災害を想定した避難行動の啓発（東吉野村）

課題対応 AB

【令和2年度：奈良県】

土砂災害を想定した避難行動の啓発を行った。

開催概要

- 日 時：令和2年9月6日（土）
- 参加者：東吉野村 区役員 約50名
- 場 所：東吉野村 住民ホール
- 概 要：近年の土砂災害の増加などをふまえ危険な場所を知り、“いつ” “どのような” 避難行動をとるべきかの講座を開催しました。過去に現地で起きた深層崩壊のパネルを展示し、土砂災害が身近なものであることを改めて知っていただきました。

感想等

- ・自宅周辺の危険な場所について、改めて調べてみようと思った。
- ・スマートフォンを使用して、土砂災害・防災情報システムから地元のY/Rゾーンを確認する方法を知りたい。

学習の様子



講座の様子



参加者からの質問



参加者の様子

深層崩壊展示パネル
(東吉野村麦谷地区)

○土砂災害防止に関する出前講座～土砂災害から身を守ろう～

課題対応 AB

【令和2年度：奈良県】

土砂災害防止に関する出前講座を実施した。

開催概要

- 日 時：令和3年2月5日(金)
- 参加者：奈良市立柳生小学校 児童、教員 約50名
- 場 所：奈良市立柳生小学校 ●概 要：児童向けに、模型や動画を使った座学、砂防えん堤の見学、学校周辺のレッドゾーン周知を実施しました。「土砂災害ってなに?」「学校の近くのキケンなところ」「えん堤はどうやって作られているの?」といった内容にて開催しました。

感想等

- ・土砂災害は、家がこわれたり流されたりするので怖いと思いました。
- ・学校のまわりにも危険な所があることを知りました。
- ・砂防ダムは、土砂災害から学校を守るために作られたことが分かりました。
- ・家に帰って、ハザードマップを見て危ないところや避難場所を調べてみようと思いました。

学習の様子



土砂災害の動画を見る児童



表層崩壊・深層崩壊の模型を用いた座学の様子



学校周辺の土砂災害特別警戒区域を確認

付近の砂防堰堤の見学
(向南谷砂防堰堤：R2年2月完成)

令和2年度取組状況 (市町村)

令和2年度取組状況 (津市)

○洪水予測や水位情報の提供の強化

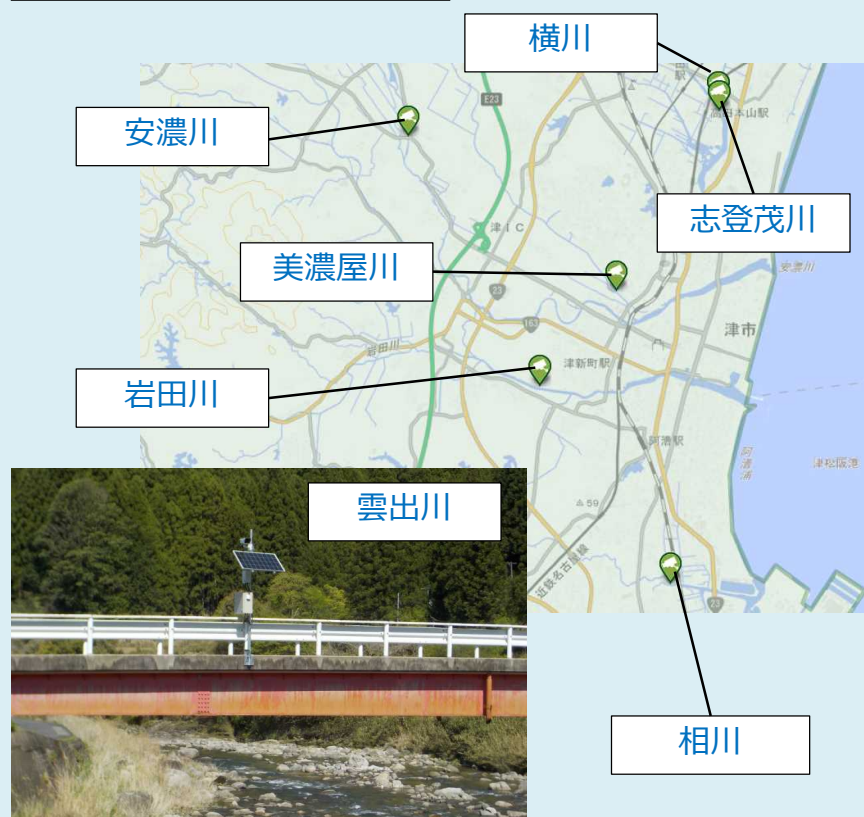
課題対応 緊4

【令和2年度：津市、三重県】

市内の県管理河川において、洪水時の水位監視を目的とした簡易型河川監視カメラの設置が三重県により進められており、令和2年度は下記の7河川にカメラが設置された。

実施状況

カメラ設置河川



カメラ画像



令和2年度取組状況 (名張市)

○中学校生徒に対する防災教育(水害・地震)の実施

課題対応 **J**

【令和2年度:名張市】

・名張中学校生徒に対して、「名張市で起こりうる自然災害」及び「家庭での備え」等について授業を実施

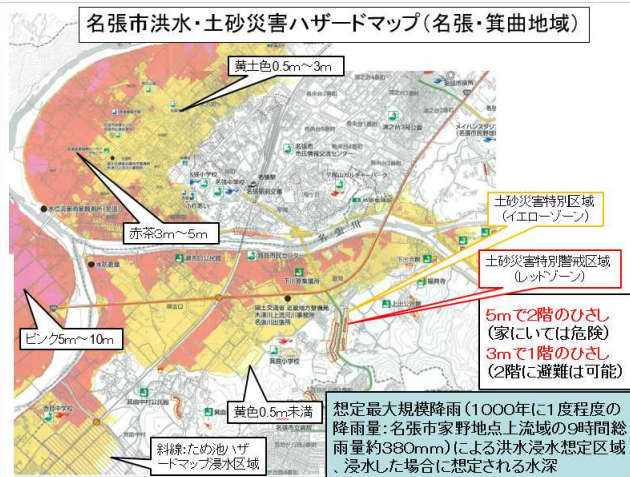
実施概要

- **日時**
令和3年3月10日(水) 11:00~12:50
令和3年3月15日(月) 13:35~15:25
- **参加者**
名張中学校生徒67名(10日)
68名(15日)
- **テーマ**
防災対策について 地震風水害に備えよう

使用した資料

教育に使用した資料

- 1 ハザードマップ説明
- 2 実災害の説明
- 3 気象庁「危険度分布」
- 4 情報の入手の手段等



感想等

「車で走行中に地震にあったらどうしたらよいか。」「ハザードマップに自分の家がどこにあるか印を付ける生徒がいて興味を持って聞いていた。」

平成29年10月22日から23日にかけての台風21号の大雨時の名張市での最大9時間雨量193.5mm

赤目中学校付近

宇陀川

三重県名張市赤目町相楽線沿橋

冠水時(伊勢市)

画像出典:近畿地方整備局木津川上流域川事務所「平成29年台風第21号による出水概要 第1号」より

1 道、畑、側溝等が判別できない。
2 移動する場合は、棒等で足元を確かめながら

気象庁ホームページで公開している「危険度分布」

気象庁HP> 防災情報 > 大雨警報(土砂災害)の危険度分布

平成29年10月22日~23日の台風第21号の接近・上陸時(23日03時ごろ静岡県)での状況

庁HP(www.jma.go.jp/jma/index.html)

※ 10月22日23時00分時点の危険度分布状況

高解像度降水ナウキャスト
www.jma.go.jp/highresrad/
土砂災害警戒判定メッシュ情報
www.jma.go.jp/doshamesh/
大雨警報(浸水害)の危険度分布
www.jma.go.jp/suigaimesh/inund.html
洪水警報の危険度分布
www.jma.go.jp/suigaimesh/flood.html

は6時間前の画像まで確認可能

○地域住民に対して災害対策等に関する説明会を実施
課題対応 AB
【令和2年度：名張市】

地域住民に対して、「名張市で起こりうる自然災害」等について説明会を開催
その他、地域が抱える課題及び疑問（避難所・区の役割・ペット同行避難）等についても説明を実施

実施概要

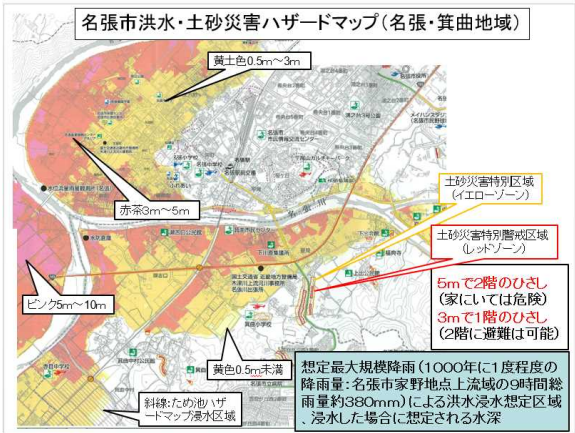
- 日時
令和2年 7月 3日（金）10:50～12:40
令和2年10月23日（金）10:00～11:30
令和2年11月13日（金）10:00～11:20 他
●参加者
名張青峰高校生徒12名 地域住民41名 他
●テーマ
自然災害と対策、避難所、備蓄品、ペットの同行避難について等

感想等

名張市の自然災害について理解を得る事が出来たと考える。水害については、ハザードマップ・気象情報、市の避難指示等により早期の避難が大切であることを強調できた。

使用した資料の例

- 1 ハザードマップ説明
2 実災害の説明
3 気象庁「危険度分布」
4 三重県土砂災害情報提供システム
5 情報の入手の手段等



- 情報入手の手段
平常時
○名張市防災マップ
○名張市洪水・土砂災害ハザードマップ
○三重県土砂災害情報提供システム：土砂災害マップ
気象情報時
○気象庁：大雨・洪水警報の危険度分布等
○三重県土砂災害情報提供システム：土砂災害危険度情報
○テレビの文字データ放送
避難勧告等時
○警察、消防団、広報車、サイレン、警鐘、自主防災組織を通じた電話連絡
○adsFM：IBFMなほり（防災ラジオ）
○防災ほっとメール（登録制）
○緊急速報メール
○名張市ホームページ等

県がHPで公表している「三重県土砂災害情報提供システム」
■県ホームページのインターネットアドレス: https://www.sabo.pref.mie.jp/Top.aspx
又は、「防災みえ.jp」> 緊急時お役立ち情報の「三重県土砂災害情報提供システム」
利点：県のシステムでは、土壌雨量指数状況（危険度レベル1～4）の格子は1km単位で表示されます。
気象庁HPでの格子表示は、現在5km単位の格子となっています。
○県トップページでの表示画面
○名張市での表示例（平成30年6月13日 16時50分）
三重県土砂災害情報提供システム
地図縮尺は100mまで拡大できるようですが、見やすさ等から、縮尺表示は2kmまたは1km縮尺が分かりやすいかと思えます。お住まいの地区における土砂災害の警戒を要する、危険度レベル状況が4段階で分ります。システムの詳しい利用については、県の当該HPをご覧ください。お問い合わせください。
引用：県HPより

令和2年度取組状況 (伊賀市)

取組内容

市民へ新型コロナウイルス感染症を踏まえて災害時の避難に対する啓発を行った

【令和2年度伊賀市】

具体的な取組内容

新型コロナウイルス感染症については、感染経路が特定できない新規感染者が報告されるなか、大規模な地震や台風・豪雨などの風水害時には、多くの市民が避難する避難所が「3密」状態により感染が拡大する恐れがあることから避難所における感染防止が重要な課題となるため、市民の避難について、チラシを作成し周知を行った。

実施概要

- 配布日時 「広報いが」令和2年6月1日号と同時回覧
- 回覧対象者 伊賀市全世帯（約41,000世帯）

感想等

新型コロナウイルス感染症が拡大しているなかで、出水期（梅雨や台風による大雨が多い時期）に入る可能性があるため、市民の各々が新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難行動及び避難場所においての過ごし方を事前に考えることができた。

実施状況



令和2年度取組状況 (笠置町)

水害時対応勉強会・研修会の実施

課題対応 緊3

【令和2年度：京都府・木津川市・精華町・笠置町・和東町・南山城村】

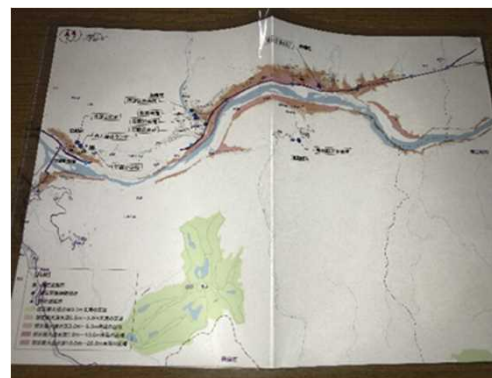
・区長・消防団などの防災リーダーを対象に、京都府・木津川市・精華町・笠置町・和東町・南山城村合同の災害時声掛け人材養成研修を実施。講演や避難行動タイムライン作成などの個人ワーク形式での研修を行った。

時期	場所	内容
令和2年12月2日(水)	木津川市役所	「災害時声掛け人材養成研修」 ・避難行動タイムライン作成の手順 ・地域の危険性の確認 ・避難スイッチの確認 ・避難ルール・場所の確認 ・地域の避難行動タイムラインの検討

災害時声掛け人材養成研修



講演



地域内での危険箇所を確認

活動の効果
今後の予定

水害等が起こった際、地域で自主的に声を掛け合って避難する共助体制を構築する重要性を地域の防災リーダー間で共有し、防災意識の向上につながった。
引き続き職員勉強会、住民の方との意見交換会を行い、防災対策を推進する。

令和2年度取組状況 (南山城村)

○村内の災害危険箇所について、京都府と合同で点検を実施。

課題対応 緊2

【令和2年度：南山城村・京都府】

実施概要

- 日時
令和2年6月11日
14時～16時30分
- 参加機関
南山城村 総務課 建設水道課
京都府 木津地域総務防災課
土木事務所河川砂防課
- 実施概要
村内の災害危険箇所（3箇所）をピックアップし、現地確認と対応についての意見交換を行った。
- 当日のスケジュール
14:00～ 概要説明
14:15～ 現場パトロール
16:00～ 意見交換

実施状況



令和2年度取組状況 (宇陀市)

○想定最大規模降雨及び土砂災害警戒区域等の更新

課題対応 a

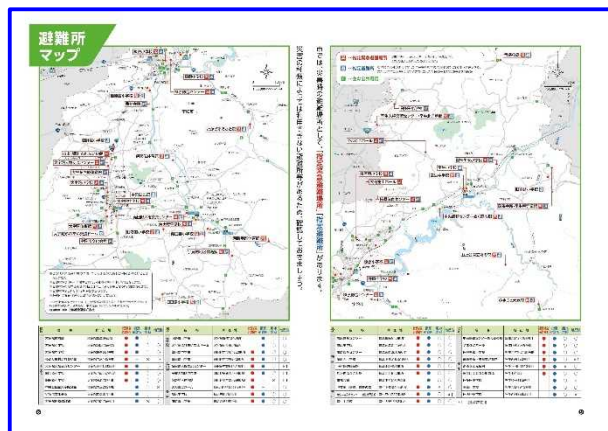
【令和2年度：宇陀市】



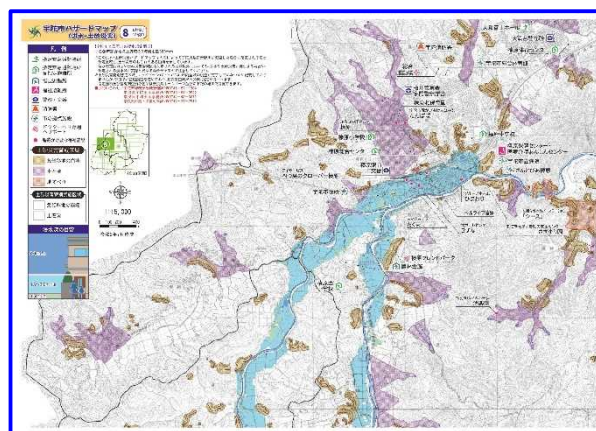
宇陀市内の土砂災害警戒区域及び特別警戒区域の指定並びに土砂災害警戒区域の解除、また、淀川水系宇陀川と芳野川の洪水浸水想定区域の見直しが行われたことにより、ハザードマップの更新を行うものです。
市内全域のハザードエリアを一冊（48ページ）にまとめており、ハザードマップ以外にも、市から発信する避難情報の収集方法や市内の指定避難所の配置図等を掲載しています。

【ハザードマップ配布について】

(作成部数) 15,000部 (配布部数) 12,787部
 大宇陀：2,645・菟田野：1,494 榛原：6,793 室生：1,855
 (配布方法) 市内全戸及び事業所へ配布 (配布期間) 8月21日～9月3日



市内避難所一覧



ハザードマップ



防災情報の収集方法

令和2年度取組状況 (山添村)

○防災知識の広報活動

課題対応 **h**

【令和2年度：山添村】

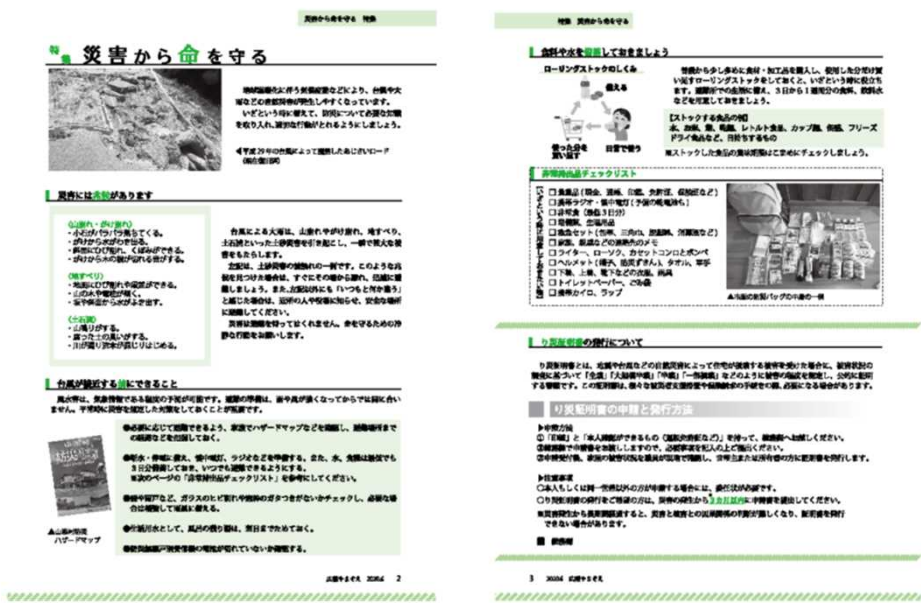
○概要

村の広報紙6月号（6月1日配布）に、出水期に備えるための特集記事を掲載した。これにより、村民へ災害に対する注意喚起を行うとともに、備蓄品等の災害への備えを促し、住民の防災意識向上を努めた。

【記事内容】

- 土砂災害の兆候について
- 風水害等の備え・準備について
- 備蓄品のローリングストックについて
- 非常持出品チェックリストについて
- り災証明書の発行について

○記事概観




○参考

- 令和2年度における広報紙「広報やまぞえ」への防災関連記事掲載状況
- Jアラート・緊急地震速報の案内

令和2年度取組状況 (曾爾村)

○河川監視カメラの整備

課題対応 

【令和2年度：曾爾村】

具体的な取組内容

河川監視カメラを設置し、河川の状況をリアルタイムな動画として住民に配信する。

実施概要

- 氾濫の危険性のある箇所（村内2箇所）に『河川監視カメラ』を設置し、従来の河川情報に加え河川の状況をリアルタイムな動画として住民に提供することで、適切な避難判断を促す。

特徴

- こまどりケーブル株式会社より提供されるライブカメラ用ストリーミングサービスを利用することにより自治体放送で各家庭のテレビに配信が可能となる。

実施状況



青蓮寺川（伊賀見地区）



青蓮寺川（掛地区）